

平成24年6月4日

保護者様

倉吉市立〇〇小学校長

気象警報発表時の対応について（お知らせ）

向暑の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、このことについては、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、昨年度気象警報発表にともなう臨時休校が4日間あり、今年度も4月26日には暴風警報発令による臨時休校を行いました。これは、気象警報・注意報の発表基準改定により平成22年5月27日からこれまでよりも細やかな警報が発令されるようになったことによるものであり、児童の安全確保を最優先に考え判断している結果です。

しかしながら、危険性が少ないのではないかとされる天候でも警報が継続されていた場合もあり、児童の安全と授業時間数確保の視点から小学校校長会としましても鳥取気象台等から講師を招き気象警報発表基準等について研修を深めたり、倉吉市教育委員会とも協議したりしてきました。

つきましては、今後は下記のような対応を原則としますのでご理解とご協力をよろしく願います。

記

	判断する時刻	状 況	対 応	
前 日		翌日の警報発令が予想される。 または、警報が発令された。	学校ごと	保護者に前日予告の <b>文書やメールを送る。</b>
	タイムリミット 午後5時	翌日に 「暴風警報」 「洪水警報」 「暴風雪警報」 「大雨警報(浸水害)」 発表の可能性が非常に高い。	市一斉	<b>翌日の給食をカットする。</b>  (発表されなかったら弁当が必要)
当 日	午前6時	「暴風警報」「洪水警報」 「暴風雪警報」 「大雨警報(浸水害)」 が発令されている。	市一斉	<b>臨時休校とする。</b>  (市防災無線でも連絡)
		「大雨警報(土砂災害)」 が発令されている。	学校ごと	臨時休校にするか否かを判断する。 (通学路の安全性を考慮)
		「大雪警報」が発令されている。	学校ごと	臨時休校にするか否かを判断する。 (積雪量や通学路が確保できるかを考慮)

※「大雨警報」には、(浸水害)と(土砂災害)の2種類があり、(土砂災害)の可能性のある学校が少ないため、「大雨警報(土砂災害)」発表の場合は、学校ごとの判断とします。

※「大雪警報」も、地域により積雪量や通学路の状況に差があるため、学校ごとの判断とします。

※警報発表がなく、通常の登校が可能な場合は、特に連絡しません。

※保護者の皆様には、天気予報や学校からの連絡メール、ホームページ等にご注意ください。